

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ)



「ヒライ信」三疊字 (さんじょうじ・品用字)

落語に出てくる川柳・狂歌・ことわざシリーズ

「十人寄れば気は十色」→ 饅頭こわい

十人寄れば気は十色と申します。人間それぞれにお顔、容姿 (かたち) が違いますように、ご気性、ご気合い、心持ちというものが違ってございます。

ですから、好き嫌いなどというものも一人ひとり違っておりますようで・・・

十人十色、百人百様、千差万別、三者三様、でございます。若者が集まって

それぞれ嫌いなもの、怖いものを言いあっていく。「クモ」「ヘビ」「アリ」など言い合う。熊公「いい若い者がくだらないものを怖がるとは情けない。世の中怖いものなどあるものか」とうそぶく。

他の男が「本当に怖いものはないのか」と聞くと、うそぶいていた

熊公「本当はある」と白状する。「では、何が嫌いなのか」と念を押され、

熊公が小声で「まんじゅう」とつぶやく。その後、「まんじゅうの話をしているだけで気分が悪くなった」と言い出し、隣の部屋で寝てしまう。

残った男たちは「あいつは気に食わないから、まんじゅう攻めにして脅してやろう」と、金を出し合い、まんじゅうをたくさん買いこんで熊公の寝ている枕元に饅頭を置く。目覚めた熊公は声を上げ、ひどく狼狽してみせながらも、「こんな怖いものは食べてしまって、なくしてしまおう、まんじゅう怖い」などと言ってまんじゅうを全部食べてしまう。

一部始終をのぞいて見ていた男たちは、熊公にだまされていたことに気付く。怒った男たちが熊公をなじり、「お前が本当に怖いものは何だ!」と聞くと、

熊公「濃いお茶が1杯怖い」。



■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「体温計」「招き猫」とかけて

次回は2022年8月1日(月)「ひまわり」「冷やし中華」